

人権センター 図書だより

Vol.45 令和8年3月10日発行



発行:四日市市人権センター
TEL.354-8609 FAX.354-8611
jinkencenter@city.yokkaichi.mie.jp

春の気配が日ごとに濃くなり、木々のつぼみも膨らみ始めました。
もうすぐ今年度も終わりますが、この一年間、多くの方にご利用いただき誠にありがとうございました。
来年度に向けて、新しい知識や視点を得られる本を探しに来てはいかがでしょうか。
人権センターでは、人権に関する図書やDVDを豊富に取り揃えています。

新着図書より(一部紹介)



PIZZA FOR PEACE

世界で愛されるピザレストラン Pizza 4P's の軌跡

(J-1-151 益子陽介、高杉早苗 著 宝島社)

小さな Piece を大きな Peace へ

Pizza 4P's (ピザフォーピース) の創業者は企業の夢を抱いていた益子陽介さんと支え続けてきた妻の高杉早苗さん。夫妻が2011年にベトナムで1号店をオープンし東京やニューヨークへ展開するまでの道のりを紹介する本書。

彼らが掲げる「Make the World Smile for Peace (平和のために世界を笑顔にする)」というビジョンや、ピザを通して幸せを届けたいという思い、そして開業準備の苦労や海外進出のきっかけ、病との闘いなど、起業から挑戦の全てが描かれています。海外起業や夫婦での挑戦を目指す人々に加えて、大切な人に寄り添うことや平和について考えるきっかけを与えてくれる内容です。

『『生きる』教育』で変わる未来

学校を子どもたちの「心の安全基地」に

(I-1-90 大久保真紀 今垣清彦 小野太恵子 別所美佐子 田中梓 木村幹彦 辻由起子 西岡加名恵 編著 日本標準)

学校を最高の【居場所】に

不登校や行き渋りに悩む子どもたちが増える現代において、学校が本来どうあるべきかを問い直す一冊です。著者が提示するのは、知識を詰め込むだけの教育ではなく、子どもたちが「自分はここにいていいんだ」と思える「心の安全基地」としての役割が重要だと説いています。

具体的な対話の手法や、自己肯定感を育むための環境づくりについて詳しく解説されています。先生方や保護者の方はもちろん、子どもに関わる全ての人に読んでほしい、温かい希望に満ちたガイドブックです。

これからの教育のあり方を見つめ直すきっかけとして、ぜひ手に取ってみてください。

ひのえうまに生まれて 300年の呪いを解く

(G-136 酒井順子 著 新潮社)

「女性の運命」を縛ったのは誰か。 300年続く迷信の正体に迫る。

江戸時代から続く「丙午(ひのえうま)生まれの女性は気性が激しい」という迷信。1966年には出生率が激減するなど、科学の時代でもこの「呪い」は日本人の心理を支配してきました。

本書は、八百屋お七の伝説がいかにして恐怖の象徴へと変貌し、人々の偏見を煽ってきたのかを徹底検証します。

単なるオカルト批判ではなく、その裏に潜むジェンダー差別や同調圧力を浮き彫りにする内容は、現代を生きる私たちへの鋭い問いかけでもあります。

2026年の丙午を迎えた今、理不尽な思い込みから自由になるための知恵を授けてくれる一冊です。

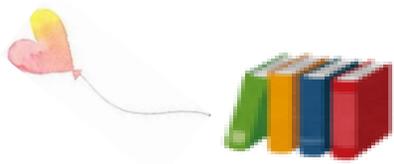
私はカーリ、64歳で生まれた

(B-91 カーリ・ローズヴァル ナオミ・リネハン 著 速水望 訳 海象社)

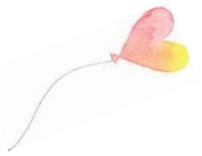
「定年が私の誕生日だった。」

幸せな家庭で育ち、孫にも恵まれ、穏やかな老後を過ごしていたカーリ。しかし64歳のある日、一枚の古い書類をきっかけに、信じていた自分の過去がすべて「偽り」であったことを知ります。彼女はナチスが「純粋なアーリア人」を増やすために作った施設「レーベンスポルン(生命の泉)」で生まれた、いわば国家の計画による「作品」だったのでした。

「私は誰から生まれたのか?」「なぜ別の家族に預けられたのか?」人生の終盤に差し掛かり、彼女は失われた自分を取り戻すため、わずかな手がかりを頼りに過酷なルーツ探しの旅へ出ます。



新着図書 1月～2月



書名	著者名等	出版社等
PIZZA FOR PEACE 世界で愛されるピザレストラン Pizza4P`sの軌跡	益子陽介、高杉早苗	宝島社
『『生きる』教育』で変わる未来 学校を子どもたちの「心の安全基地」に	大久保真紀、今垣清彦 小野太恵子、別所美佐子 田中梓、木村幹彦 辻由起子、西岡加名恵	日本標準
ひのえうまに生まれて 300年の呪いを解く	酒井 順子	新潮社
私はカーリ、64歳で生まれた	カーリ・ローズヴァル ナオミ・リネハン	海象社
仮放免の子どもたち 「日本人ファースト」の標的	池尾 伸一	講談社



新着DVD



分類	タイトル	時間 (分)	企画 / 制作
7-324	あなたのいる庭	35分	兵庫県人権啓発協会
3-74	ミミーとハットのはなまるクイズ	13分	株式会社 ドラコ
7-325	窓の向こうへ わたしもあなたも大切なんだ	36分	東映株式会社
7-326	君の景色を知ったとき ～それは、誰にとっての当たり前?～	30分	東映株式会社

新着 DVD より (一部紹介)

『君の景色を知ったとき』 -それは、誰にとっての当たり前?- (7-326) (30分)

舞台はとある図書館。私たちは普段、財布のカードを使ったり、案内板を見たりすることを「当たり前」だと思っています。しかし、視覚障害や発達障害のある人、あるいは海外から来た人にとっては、その当たり前が大きな壁になることもあります。

本作は、自分とは異なる立場にある人の「景色」を知ること、思い込みに気づき、支え合うことの大切さを描いたドラマです。相手の事情に想像力を働かせる一歩を、この作品から始めてみませんか。

